



2016年1月5日

## 年頭挨拶（要旨）

昨年の日本電産グループはビジネスポートフォリオを大きく転換した1年となったが、今年には大きな成長のチャンスとマーケットリスクが混合してくる年となると予想している。

すなわち、世界の電力の約半分を消費していると言われるモーターをさらに効率化することで電力問題を解決し、地球環境の劇的な改善に貢献していく他、自動運転化する車載やロボットやドローン、そしてI o T等を中心とした関連新事業において、永年培ってきた技術開発が開くと同時に、新しいグローバルマーケットへの参入が加速してくる1年となる。一方ではこうした新マーケットの変化もどんどん早くなり、競争もますます激化して、戦いに負けた場合のリスクは信じがたいものになるだろう。

グローバル競争に負ける条件は

- 1、競争相手が出来ていることを出来なくなる
- 2、社内で言い訳や泣き言、あきらめ等のうしろ向きの発言が目立ってくる
- 3、一番でなく、二番以下でもよいという社風が変わってくる

よって全社員が今こそ緊張感と危機感を保持しつつ、結果責任を担う気概や市場に勝利する闘争心や挑戦心をもって新しい企業集団づくりに参加してもらうことこそが、明るい1年にする原点になると信じている。

日本電産株式会社  
代表取締役会長兼社長 永守重信

以上